

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 13 日現在

機関番号：34304

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2016

課題番号：25380211

研究課題名(和文) ミャンマーの遷移モーメントと国際社会

研究課題名(英文) Myanmar's Transition Moment and the International Community

研究代表者

ストレフォード パトリック (STREFFORD, Patrick)

京都産業大学・外国語学部・准教授

研究者番号：40469127

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文)：研究者は、ヤンゴン、ミャンマーのフィールド調査を実施した。このフィールド調査中にミャンマーの開発に対する専門家にインタビューを行った(例；国際コンサルタント、大使館の官僚、現地の研究者)。また、論文が国際学術誌に掲載された。さらに、研究者のアカデミックネットワークの拡大により、招待者のみが参加できる国際学会・国際ワークショップに参加することができた。ミャンマー戦略国際問題研究所とも親密な関係を結ぶことができた。

研究成果の概要(英文)：The principal researcher undertook a number of research trips to Yangon, Myanmar. During these trips I interviewed a number of experts on Myanmar development issues (for example, International consultants, embassy officials and local researchers). I published in international journals. Because of my academic network, I was able to attend a workshop that was invitation only. I established a close relationship with the Myanmar Institute of Strategic and International Studies.

研究分野：国際関係学

キーワード：ミャンマー開発 政府開発援助 キャパシティビルディング 民主主義の変遷 市場経済の変遷

1. 研究開始当初の背景

この研究プロジェクトの開始前に、研究者はミャンマーの政治経済発展に関する研究を行っていた。この研究は、経済協力開発機構(OECD)ドナーのミャンマーに対する開発援助と人道援助に焦点を当てていた。研究者は、ODA(政府開発援助)ドナーのミャンマーに対する技術援助、ミャンマーの公衆衛生の悪化に応じての人道援助、ミャンマーに対する米国の外交政策、ミャンマーに対する欧米諸国の制裁政策などに関する多くの書籍を出版した。研究者は、日本とミャンマーとの間の二国間関係についても焦点を当てて研究した。ミャンマーに対する日本の外交への影響、日本とビルマの関係の歴史について論文も出版した。日本とビルマの関係の歴史は研究者の博士論文のテーマであった。研究者は、日本、オーストラリア、イギリス、カナダ、中国、韓国、タイなどの国々で、これらのテーマについて長年にわたって発表した。

2. 研究の目的

この研究プロジェクトの主な目的は、ドナーがミャンマーの改革プロセスを効果的に支援している程度を調査することであった。ミャンマーは、国の政治、経済、社会のすべての面をカバーする広範かつ包括的な改革に着手している。このことから、ミャンマーでの変遷は21世紀初頭において最も重要であると言える。ミャンマーの変遷が特に重要なのは、この国に対する制裁の歴史がある故である。数年前、今援助を行っている援助国のほとんどがミャンマーに対して制裁を実施していた。米国とEUは特に厳格な制裁を実施していた。これらの制裁は中止され、ドナーコミュニティはミャンマーの変遷に多くの援助を提供している。しかし、この援助はどのくらい効果的なのか?だれの利益のために提供されているのか?これらは、この研究が答えようとした主要な質問のうちの2つである。

学術コミュニティおよび政策コミュニティにおいて、ミャンマーで行われているような改革のために公共部門が重要であることは広く認識されている。その理由は、公共部門が改革の実施主体であり、改革の主要な目標であるということにある。これは公共部門にかなりのストレスを与えているため、外部からの支援が必要不可欠である。このため、この研究プロジェクトはミャンマーの公共部門へのODAに焦点を当てている。しかしながら、ODAドナーはどのように公共部門に援助を提供しているのか?ドナーはミャンマーの改革の実施において公共部門をどのように支援しているのか?

これを行う主な方法は技術援助である。例えば、国際コンサルタント、専門家、訓練

セッション、設備などを提供すること。このことから、この研究プロジェクトは、ODAドナーのミャンマーの公共部門に対する技術援助にさらに焦点を当てている。学術コミュニティおよび政策コミュニティは、技術援助の重要性を認識している一方、過去の技術援助は厳しく批判されてきている。ODAドナー自身によるものを含むさまざまな研究で証明されているように、ほとんどの技術援助は効果的でなく、無駄であり、ドナードリブン援助であると言われる。ドナードリブン援助というのは、受益国のニーズではなく、ドナー側の利益のために実施される援助のことを言う。したがって、この研究プロジェクトの目的は、ミャンマーの公共部門に対する技術援助が無効で無駄であり、ドナードリブンであるかどうかを判断することである。

3. 研究の方法

この研究プロジェクト期間中、研究者はミャンマーへの6回の現地調査を行った。これらの現地調査期間中、研究者は50人以上に綿密なインタビューを行った。この綿密なインタビューは、インタビューされる人が自由に発言できるようにするためのオープンな質問で構成されており、研究者がノートにコメントを記録した。

インタビューされる人の多くは、数々の機会においてインタビューを受けた。これらのインタビューは、ヤンゴンと新首都のネピドーで行った。インタビューされる人全員は、ミャンマーの変遷の関係者であった。彼らはそれぞれの分野の専門家であり、さまざまな視点で選ばれた。彼らはミャンマーの政治的、社会的、経済的發展に関わっていた。例えば、ミャンマーで活動しているドナー機関(JICA、DFID、UNESCO、USAID、EU、UNIC、UNRCO、GIZ、ILO、ユニセフ、UNDP、プリティッシュカウンスルなど)の関係者、ミャンマー政府の外務省の外交経済関係部の地方官僚、ミャンマー政府と外国の援助国の両方に勤務する国際開発コンサルタントをインタビューした。また、ヤンゴン大学やミャンマー戦略国際研究所の研究者や学者にもインタビューをした。さらに、インタビューされる人には、ミャンマーで活動している地元および国際NGOの職員も含まれていた。これらのインタビューのデータは、研究者が継続的に引き受ける図書館ベースの研究を補完した。これは、現象を全体的に理解しようとする解釈的研究方法論に従う。

4. 研究成果

この研究プロジェクトのために、研究者はミャンマーを研究する国際的な学者のネットワークに加わることができた。これは、国際会議に出席し、プレゼンテーションを行い、

ミャンマーの移行に関する学術論文を発表することによって可能となった。また、ヤンゴンやネピドーで、ミャンマーの変遷に実際に携わる人々の大規模なネットワークを開発することもできた。研究者は、この研究プロジェクトの開始以来、合計6つの学術論文を出版している。研究者はまた、合計10の学術会議やワークショップで研究成果を発表してきている。この研究プロジェクトの研究結果で明らかとなったのは、ドナーが実際にミャンマーの改革プロセスに多大な技術援助を提供していることである。しかし、そのような援助は、ドナードリブンのままであることが多いようである。とは言え、そうした技術援助を提供する方法は劇的に改善されたようであり、技術援助の多くは過去よりも有効であると思われる。

この研究プロジェクトでさらに明らかになったのは、ミャンマーの発展に日本が主導的役割を果たしていることである。これはいくつかの要因によるものである。第一に中国との戦略的競争。第二に、日本の企業による多くの市場と資源のための際限のない欲求。これにより、ミャンマーは東南アジアの生産ネットワークに統合されていく。第三は、ASEANの統合を強化したいという希望。第四は、制裁期間中に二国間関係に与えられた被害を元に戻すという願望である。日本は制裁を終結させるために重要な役割を果たした。これは、制裁の結果であった制約を克服するために日本が直接援助を提供したためである。このように、日本はミャンマーの移行に積極的に取り組み、積極的に制裁を克服する方法を模索した。また日本はミャンマーの二国間債務を速やかに取りやめ、将来の円借款を可能にした。しかし、この取り消しはミャンマーの改革の進展に条件があったと言わざるを得ない。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計6件)

Strefford, Patrick, Japan's Bounty: Finally Reaping the Rewards of its long-term investment in Myanmar, *Asian Survey*, Vol. 56, No. 3, 2016, pp. 488-511, DOI: 10.1525/as.2016.56.3.488. 査読有

Strefford, Patrick, Myanmar's Transition and the International ODA Regime: Ethical Aid?, *The Bulletin of the Institute of World Affairs*, Vol. 31, 2016, pp. 175-190. 査読無

Strefford, Patrick, Foreign Aid for Myanmar's Transition: Capacity Takes Precedence, *Asian Journal of Public Affairs*, Vol 8, No. 1, 2015, pp. 25-46. 査読有

Strefford, Patrick, Myanmar's Transition and its Protest Movements,

Asia Journal of Global Studies, Vol. 6, No. 1, 2014. <http://www.aags.org/journal/ajgs-2014-volume-6-issue-1-issn-1884-0264>. 査読有

Strefford, Patrick, Overcoming Bottlenecks: Japan-led support for Myanmar's Transition, *The Bulletin of the Institute of World Affairs*, Vol. 29, 2014, pp. 61-80. 査読無

Strefford, Patrick, Myanmar's "Transition Moment": ODA Donor's Technical Assistance/Cooperation, *京都産業大学論集: 社会科学系列*, No. 30, 2013, pp.193-214. http://ksurep.kyoto-su.ac.jp/dspace/bitstream/10965/896/1/AHSUSK_SSS_30_193.pdf 査読有

[学会発表](計8件)

Strefford Patrick, Education Reform in a Country in Transition *Asia Association of Global Studies*, Don Honorio Ventura Technological State University, 4th February 2017. Panpanga, Philippines.

Strefford Patrick, Myanmar's Transition: Donor-Driven Aid and Donor Capacity Deficit *京都産業大学世界問題研究所*, Kyoto Sangyo University 26th October 2016. Kyoto-fu, Kyoto-shi.

Strefford Patrick, Development Aid and Myanmar: Whose Capacity needs Development? *Critical Hurdles to Myanmar's Opening Up Process*, Center for South East Asian Studies, Kyoto University, 5th February 2016. Kyoto-fu, Kyoto-shi.

Strefford Patrick, Democratisation in Myanmar: Will Aid help or hinder? *Burma/ Myanmar in Transition: Connectivity, Changes and Challenges*, Chiang Mai University 24th July 2015. Chiang Mai, Thailand.

Strefford Patrick, Myanmar's Nascent Special Economic Zones: Winners and Losers *Asia Association of Global Scholars*, International Christian University, *Uneasy Street: Life, Work, and Precarity in a Globalized World*, 18th July 2015. Tokyo-to, Mitaka-shi.

Strefford Patrick, Myanmar's Transition and the International ODA Regime, *Global Politics, Economy and Society Seminar Series*, Oxford Brookes University, 17th November 2014. Oxford, England.

Strefford Patrick, ミャンマー変革のための国際的支援・

International Support for Myanmar's Transition, 京都産業大学世界問題研究所, Kyoto Sangyo University, 28th May 2014. Kyoto-fu, Kyoto-shi.

Strefford Patrick, Ethical Aid: Myanmar ' s transition, charity and capacity building, Asia Association of Global Studies and Shantou University's Center for Global Studies, 22nd March 2014. Shantou, China.

〔図書〕(計5件)

Garofalo Russell, Iguchi Masahiko, McCormack Noah and Strefford Patrick, Bookway, On Learning and Knowledge: A Concise Introduction to the Humanities, 2017, 154 pages (pp. 43-59, 81-94).

Strefford Patrick, Kindle 版 , International Development Studies- Part II: Issues, 2015, 73 pages.

Strefford Patrick and McCormack Noah, Bookway, Introduction to International Relations: Volume 2, Security in a Globalizing World, 2015, 148 pages, (pp. 80-95, 111-148).

Strefford Patrick, Kindle 版 , International Development Studies- Part I: Making our Framework, 2015, 104 pages.

McCormack Noah and Patrick Strefford, Bookway, International Relations: A Concise Introduction Vol. I, 2015, 155 pages (pp. 113-155).

6 . 研究組織

(1)研究代表者

ストレフォード パトリック (STREFFORD, Patrick)

京都産業大学・外国語学部・准教授

研究者番号：4 0 4 6 9 1 2 7